

| | | | |
|----------------------------|-----------|----------------|---------|
| 教材名 | | 『ふるさと山梨』の章・ページ | |
| 山梨のリズム 山梨の美 甲州12色相・甲斐八相 | | 第3章 P.74, 75 | |
| 教科(領域)等 | 図画工作科(鑑賞) | 学年(分野) | 3年生～6年生 |

1. 教材のねらいと概要

山梨県にある色や形について興味をもち、自ら見付けられるようにする。
山梨県の自然や文化財、産業などから「色」や「形」について興味をもち、共感的に見るとともに、自分の好きな山梨の「色」や「形」を見付ける。

- ・山梨県にある「色」について興味をもち、自分の好きな山梨の「色」を見付ける。
- ・過去に実際に見たことのある山梨県内の「色」、これから見てみたい「色」を考える。
- ・山梨県内の興味深い「形」(自然物・人工物)を冊子の違うページから発見する。

①導入

- ・山梨ならではの事物にどんなものがあるかを考えさせ、提示カードに記させる。
- ・小グループで意見の交換を行い、グループで「色」と「形」に特化したものを黒板に貼るよう に促す。
- ・山梨県のよさを知る時間であることを告げ、貼ったカードの市町村名をワーク・シートに記させる。

②展開

- ・山梨県の形と市町村名を記したワーク・シートに「☆」をつけながら友達の記した提示カードを確認する(グループ分全て)。
- ・重複した意見が多い場所や物について、提示した児童の意見を発表してもらう。
- ・どんなことで印象に残ったのかを聞き、ワーク・シートに記入させる。
- ・着眼点を告げ、「形」および「色」についてじっくり考えるように促す。

③まとめ

- ・冊子の該当ページを開かせ、資料の「色」や「形」について知っていることを発表させる。
- ・なぜ「よい」と感じたのかを共有できるように、出てきた意見を板書する。
- ・自分の目で見たい「色」や「形」を提示させ、理由を共有する。

④評価

- ・自分が興味深く感じ、実際に見てみたい事物をあげることができる。

2. 活用例

| | | | |
|---------|------|--|----------------------------|
| 教科名等 | 図画工作 | 単元(題材)名等 | 山梨にある美しい色や形を感じ取ろう |
| 活用場面 | | 活用のポイント | |
| 鑑賞領域の授業 | | <ul style="list-style-type: none"> ○山梨県の自然や文化財、産業などから「色」や「形」について興味を持ち、共感的に見て、よさや美しさを感じ取る。 ○自分で見付けた山梨の「色」や「形」を、写真に撮ったり、他の資料から探したりして自分の甲州12色相・甲斐八相を完成させ、小グループで意見交流し見方・考え方を広げる。 | 時間 45～180分 (家庭学習を含む) |

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

| ページ | 投げかけの言葉 | 意図 | 解答例 |
|--------------|--|--|---|
| P.74 P.75 | 「山梨にある美しい「色」や「形」を感じ取りましょう」 「山梨県内の興味深い「形」(自然物・人工物)や「色」を冊子の違うページから探しましょう」 | 児童が郷土の素晴らしさを再確認する中で、その「色」や「形」がこれまで存在してきた意味と今後の生活の中で大切にしていかなければならない心情を培う。 | 児童が感じ取った山梨のよさを「色」や「形」を根拠に、自分の甲州12色相・甲斐八相を完成させ、そう思った根拠を説明する。(ワークシート参照) |

| | | | |
|--------------------------------|-----------|----------------|---------|
| 教材名 | | 『ふるさと山梨』の章・ページ | |
| 山梨のリズム 山梨の美 じっくり見てみよう！山梨の風景 | | 第3章 P.76 | |
| 教科（領域）等 | 図画工作科（鑑賞） | 学年（分野） | 3年生～6年生 |

1. 教材のねらいと概要

自然豊かな山梨県の風景画を鑑賞し、それぞれの作品から時代や季節、においなどを感じ取り味わう。
 ・山梨県の自然の美しさを表現した絵画作品を6点掲載している。版画や屏風絵、水墨画や油絵など描画材料などの違いや作者の眼を通して表現された作品を鑑賞し、見方、感じ方を広げ深める。

2. 活用例



①

| | | | | |
|----------|---------------------------------------|----------|---------------|-----|
| 教科名等 | 図画工作 | 単元(題材)名等 | 山梨の風景画を鑑賞しよう！ | |
| 活用場面 | | 活用のポイント | | 時間 |
| 風景画の鑑賞授業 | それぞれの作品から感じ取ったことを周囲と意見交流し、見方や感じ方を深める。 | | | 45分 |

②

| | | | | |
|----------|---|----------|-----------------|------|
| 教科名等 | 図画工作 | 単元(題材)名等 | 美しい山梨の風景を表現しよう！ | |
| 活用場面 | | 活用のポイント | | 時間 |
| 風景画の絵画表現 | 自分が美しいと感じた身近な（山梨の）風景を、絵画で表現する。何をもって美しいと感じたかを考えさせ表現させるようにする。 | | | 180分 |

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

| ページ | 投げかけの言葉 | 意図 | 解答例 |
|---|--|--|--------------------------------------|
| P.76  | それぞれの画家が描いた作品をくらべ、表現の違いをあげてみましょう。 | 形や色、イメージをもとに、それぞれの作品を見ることで、様々な見方や表現方法を見取ることができる。 | 墨や版画、日本画、油絵の具など、描画材料の違いや遠近法、視点の高さなど。 |
| P.76 | それぞれの違いに注目しながら、画家が作品にこめた思いを想像してみて感じたことについて周りの人と意見を交わしてみましょう。 | 感じ取ったことを、周囲と意見を交流することによって見方や感じ方を深める。 | 広く雄大な感じ、高く険しい感じから神々しさを表現しようと思ったなど。 |
| P.76  | 身近な風景の中で、美しいと感じたところを絵に描いてみましょう。 | 自分が美しいと感じ取った風景を描きとどめることで、イメージを明確にする。 | それぞれの思いで表現する。 |

4. 参考文献・関連施設等

| | | | |
|--------------------------------|-------------|--------------|------|
| 参考文献名 | 発行所 | 著者・编者 | 発行年 |
| コレクション企画展「山梨礼讃～風景と人々の営み」パンフレット | 山梨県立美術館 | 山梨県立美術館 | 2015 |
| 関連施設名 | 住所 | 電話・URL等 | |
| 山梨県立美術館 | 甲府市貫川1-4-27 | 055-228-3322 | |

| | | | |
|--|-----------|----------------|-------|
| 教材名 | | 『ふるさと山梨』の章・ページ | |
| 山梨のリズム 山梨の美 時代と地域を超えたつながり ～山梨県にミレーの美術館！～ | | 第3章 P.77 | |
| 教科(領域)等 | 図画工作科(鑑賞) | 学年(分野) | 3～6年生 |

1. 教材のねらいと概要

山梨県とミレーの作品について、その関係性を作品から読み取る中で感じ取り考える。
 ・山梨県とミレーの作品について、「種をまく人」から鑑賞する手立てを学び、そのことから「種をまく人」と他のミレー作品や山梨県立美術館との関係性を作品から読み取り、山梨県とミレー作品について考えたり感じたことを交流したりする。

2. 活用例


①

| | | | |
|----------|---|----------|----------------|
| 教科名等 | 図画工作 | 単元(題材)名等 | ミレー作品について考えよう! |
| 活用場面 | | 活用のポイント | |
| ミレー作品の鑑賞 | 絵画作品の鑑賞の仕方(描写されているものを言語化し、それらのことからどのように感じたか)をミレー作品の鑑賞を通して学び、他者と意見交流することで見方や感じ方を広げ深める。 | | 時間 45分 |

②

| | | | |
|------|----------|--------|----|
| 教科名等 | 単元(題材)名等 | 活用ポイント | 時間 |
| 活用場面 | | | 分 |

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

| ページ | 投げかけの言葉 | 意図 | 解答例 |
|------|---|--|---|
| P.77 | ミレーの作品の印象について、いろいろな世代の方に聞いてみましょう。 | 絵画の鑑賞は、鑑賞者の経験を総動員して行われる。同じ作品であっても、年齢が変われば、その作品から受ける印象は大きく異なるであろう。 児童が、投げかけられた課題に取り組むことを通して、自分の鑑賞を相対化し、このことに気付くことを目的としている。 | 糧となる作物のため、日々大変な労働を行う農民の姿に尊さを感じる。 静謐さがあり、暗く、重厚な表現から、尊さを感じる。 |
| P.77 |  山梨県立美術館は、山梨県と関係の深い作品を所蔵しています。ミレーの作品とわたしたちの「山梨」とのつながりは、どんなものか考えてみましょう。 | ミレーの作品は、時代も地域も遠く離れたところで制作された作品である。しかしながら、県の美術館を象徴する作品として選定され、収集が続けられてきた。この課題を通して、「山梨」の特徴に気付かせることを目的としている。 | 大地から生活の糧を得る農民の姿を描いたミレーは、自然豊かな「山梨」とのつながりが深い。 |

4. 参考文献・関連施設等

| 参考文献名 | 発行所 | 著者・编者 | 発行年 |
|-------------|---------|--------------|------|
| 山梨県立美術館のミレー | 山梨県立美術館 | 賀川恭子・山梨県立美術館 | 2007 |